

1 「研究分野もしくは、担当科目の魅力をお教えてください。」

私の研究分野は、企業を中心とする組織のマネジメントであり、経営学という分野です。特に、戦略的な企業の倫理性や社会性を専門としています。経営学部では、「経営学総論」や「企業論」を担当しています。

近年、粉飾決算や食品関係の偽装問題、残業代の不払いの問題や過労死など、企業に関する暗いニュースが増加しています。皆さんのなかにも「企業＝悪」というイメージをもつ方がいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし、企業の活動は、多くの富を生み出し、われわれの生活を豊かなものとすることができます。また、働く場として給料を提供するのはもちろんですが、その他に、生きがいや楽しみ、成長の機会を提供することも可能です。

現在、世界のビジネスの潮流として、CSR(Corporate Social Responsibility)に基づいた経営が目指されるようになってきています。日本でも2003年ごろからこの言葉が聞かれます。これは、日本語では、「企業の社会的責任」といわれるものですが、多くの企業は、このCSRに配慮しながら企業活動を行うようになりつつあります。CSRに配慮した経営は、従業員、顧客、株主、取引先企業、地域社会といった企業の利害関係者(ステイクホルダー)のニーズに耳を傾けながら、新たなビジネスを創出し、企業自らが発展しながら同時に社会の発展を実現するという考え方を基本としています。したがって、従来の経営手法からすると、企業にとっては大きな革新(イノベーション)の段階にきているといえます。

このように、経営学は、刻々と変化する経営環境や社会のニーズ・価値観の変化などに対応しながら、グローバルな競争を展開する企業活動を扱う学問であるといえます。また、われわれの生活にとっても大きな影響を及ぼす企業活動を対象にしているため、実は、身近なテーマを扱う学問であるという側面もあります。

1 「推薦する図書を教えてください。」

経営学の入門書としておすすめしたいのは、以下の本です。経営学、特に、経営戦略ってどんなことを勉強するのだろう、と思ったら、読んでみてください。

沼上 幹(2008)『わかりやすいマーケティング戦略[新版]』有斐閣



■経営学総論ⅠA・ⅡA
■コーポレート・ガバナンス
■企業論

潜道 文子
(せんだう あやこ)

経済学部教授。担当科目は、「経営学総論Ⅰ、Ⅱ」、「企業論」、「コーポレート・ガバナンス」、「基礎ゼミ」、「演習Ⅰ、Ⅱ」。専門は、企業と社会、企業倫理、経営戦略論。趣味は、現代アート鑑賞、旅行、スポーツ等。